



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名  
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画・管理部 (氏名) 渡辺 文明 TEL 026-285-4101  
 門統括  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	142,171	6.1	1,710	43.0	2,046	35.9	1,285	46.0
27年3月期第3四半期	133,955	3.6	1,195	27.8	1,505	20.0	880	17.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,422百万円 (24.1%) 27年3月期第3四半期 1,145百万円 (33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	55.77	—
27年3月期第3四半期	38.19	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	57,552	19,859	34.0
27年3月期	39,599	18,679	46.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,548百万円 27年3月期 18,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
28年3月期	—	3.00	—		
28年3月期(予想)				6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	3.9	1,340	18.2	1,700	9.3	850	37.8	36.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	23,121,000株	27年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	70,012株	27年3月期	69,699株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	23,051,154株	27年3月期3Q	23,054,597株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心に業績や雇用環境に改善傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。食品流通業界におきましては、生活者の節約・低価格志向が継続する中、輸入原材料の高騰や、人手・車両不足によるコスト上昇、業種・業態を越えた競争の激化等により、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下、当社グループは、平成29年3月期を目標年度とする中期経営計画「変革2016～Challenge for Change～」に基づき、様々な戦略課題に取り組んでおります。

収益拡大に向けましては、原材料の調達から製品の製造・販売までの各工程へ主体的に関わることで高付加価値を生み出す「メーカー型卸」の取り組みを推進し、強化した商品力による販売拡大を進めております。

また、コスト競争力の強化に向けましては、受発注業務の標準化や構内物流業務の効率化により生産性向上を図るなど、更なる収益力の強化に継続して取り組んでおります。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,421億71百万円（前年同期比6.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益17億10百万円（前年同期比43.0%増）、経常利益20億46百万円（同35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億85百万円（同46.0%増）となりました。

#### [セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

売上高 970億81百万円（前年同期比5.1%増）  
営業利益 10億86百万円（前年同期比49.0%増）

売上高につきましては、生鮮魚のフルアソート調達や、養殖魚における生産から販売までの統合事業、洋日配・和日配のオリジナル商品の開発等、メーカー型卸機能により高めた調達力と商品力による売上拡大と、フードサービス事業における外食・中食マーケットの新規顧客開拓を進めたことから、前年同期に対して46億97百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大による売上総利益額の増加と、業務改革を推進し、収益力向上とコスト削減に取り組んだことから、前年同期に対して3億57百万円の増益となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

売上高 209億44百万円（前年同期比6.6%増）  
営業利益 1億28百万円（前年同期比373.7%増）

売上高につきましては、長野県を中心とした基盤商圏における主要顧客との取り組み強化によるマーケットの深耕化と、長野県産の原材料を使用した当社オリジナル商品の全国への販売拡大等により、前年同期に対して13億円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大による売上総利益額の増加と、システム活用による業務の効率化に取り組むことで販管費等の削減を図ったことから、前年同期に対して1億1百万円の増益となりました。

#### <畜産事業セグメント>

売上高 232億14百万円（前年同期比7.9%増）  
営業利益 4億17百万円（前年同期比11.0%増）

売上高につきましては、国産牛をはじめ食肉相場が総じて高値で推移する中、畜産品の需要が引き続き堅調だったことに加え、生産者と連携した調達機能と、生産から販売までを統合するメーカー型卸機能による商品力を活かして販売拡大を進めたことから、前年同期に対して16億91百万円の増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大による売上総利益額の増加と、コスト競争力の確保に向け、業務の効率化等に継続して取り組んだことから、前年同期に対して41百万円の増益となりました。

<その他(小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業)>

売上高 9億32百万円(前年同期比130.1%増)

営業利益 77百万円(前年同期比22.9%増)

子会社でありますA E S(株)による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)による物流業務・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は9億32百万円、営業利益は77百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は575億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して179億53百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が22億13百万円、受取手形及び売掛金が124億25百万円、商品及び製品が20億8百万円増加したことによります。

負債は376億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して167億73百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が160億66百万円増加したことによります。

純資産合計は198億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億80百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の46.5%から34.0%に減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において今後の景況や商品相場の動向等が不透明であることから、平成27年5月8日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間より、信田缶詰株式会社の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映される方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分へ表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,111	7,325
受取手形及び売掛金	13,357	25,782
商品及び製品	3,062	5,071
仕掛品	11	7
原材料及び貯蔵品	83	222
その他	2,475	2,991
貸倒引当金	△104	△155
流動資産合計	23,997	41,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,249	3,245
土地	7,417	7,849
その他(純額)	794	838
有形固定資産合計	11,461	11,933
無形固定資産		
のれん	87	198
その他	130	174
無形固定資産合計	218	372
投資その他の資産		
投資有価証券	2,524	2,632
その他	1,653	1,579
貸倒引当金	△255	△210
投資その他の資産合計	3,921	4,001
固定資産合計	15,601	16,307
資産合計	39,599	57,552
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,985	30,052
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	519	313
賞与引当金	529	305
その他	2,470	3,259
流動負債合計	19,005	35,430
固定負債		
役員退職慰労引当金	248	256
債務保証損失引当金	84	84
退職給付に係る負債	825	794
資産除去債務	82	83
その他	674	1,043
固定負債合計	1,915	2,263
負債合計	20,920	37,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,919	11,974
自己株式	△56	△56
株主資本合計	17,963	19,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	573	660
退職給付に係る調整累計額	△140	△130
その他の包括利益累計額合計	433	530
非支配株主持分	281	310
純資産合計	18,679	19,859
負債純資産合計	39,599	57,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	133,955	142,171
売上原価	120,947	128,314
売上総利益	13,007	13,857
販売費及び一般管理費	11,811	12,147
営業利益	1,195	1,710
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	62	67
受取賃貸料	146	147
その他	131	136
営業外収益合計	342	355
営業外費用		
支払利息	6	8
固定資産除却損	12	3
その他	13	7
営業外費用合計	32	19
経常利益	1,505	2,046
特別利益		
投資有価証券売却益	43	—
賠償金収入	—	13
特別利益合計	43	13
税金等調整前四半期純利益	1,549	2,059
法人税、住民税及び事業税	590	638
法人税等調整額	44	95
法人税等合計	634	734
四半期純利益	914	1,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	880	1,285

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	914	1,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223	86
退職給付に係る調整額	7	9
その他の包括利益合計	230	96
四半期包括利益	1,145	1,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,111	1,382
非支配株主に係る四半期包括利益	34	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	92,383	19,643	21,522	133,549	405	133,955	—	133,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,538	2,539	△2,539	—
計	92,383	19,645	21,522	133,551	2,943	136,494	△2,539	133,955
セグメント利益	729	27	375	1,132	63	1,195	—	1,195

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。  
 2. セグメント間取引消去によるものであります。  
 3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	97,081	20,944	23,214	141,239	932	142,171	—	142,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	2,970	2,971	△2,971	—
計	97,081	20,945	23,214	141,241	3,902	145,143	△2,971	142,171
セグメント利益	1,086	128	417	1,632	77	1,710	—	1,710

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。  
 2. セグメント間取引消去によるものであります。  
 3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。